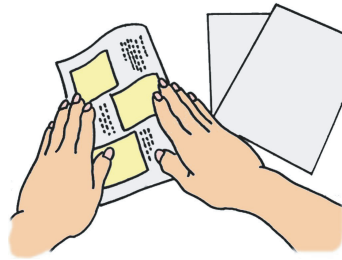


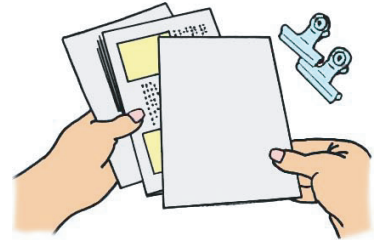
私だけの一冊を!



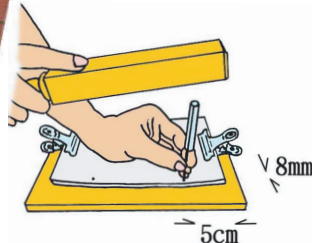
和装本（四つ目綴じ） のつくりかた。



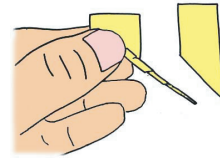
1. 綴じる中身の紙を二つ折りにします。表紙側になる無地の中身も2枚折っておきます。



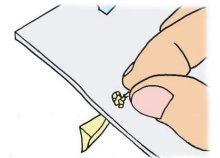
2. 折った中身は右側を綴じる方にして、表紙側になる無地の中身2枚ではさむようにして順番に揃えます。揃えた中身がずれないように、天地（上下）をクリップで固定します。



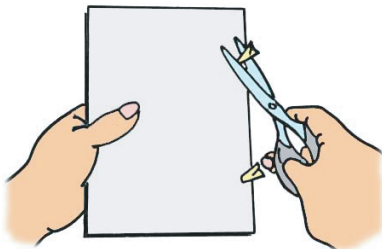
3. 背の先端から8mm、天及び地から5cm位に仮綴じ用の小さな穴をあけます。



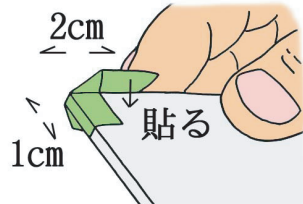
4. コヨリの紙を斜めに切り、3分の2まで先をとがらせながらコヨリを2本よめます。



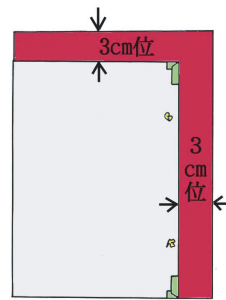
5. 仮綴じ用の穴に、コヨリを通して、抜けないようにコブができるまで回して丸めます。



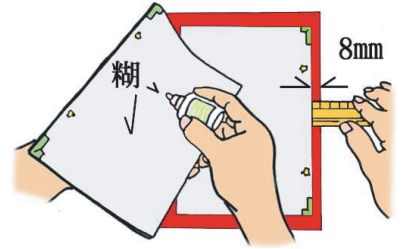
6. コブは平らにつぶし、よっていない部分のコヨリは、3~4mm残して切り落とします。3.~6. はホチキスで綴じても良いのですが、綴じた針は平らにつぶしてください。



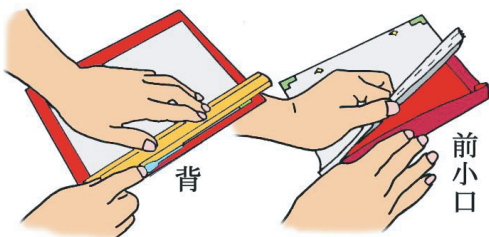
7. 1.5mm×3cmの色紙2枚を図のように背の天と地に丁寧に糊で貼ります。この角布（角紙）は無ければ貼らなくても結構です。



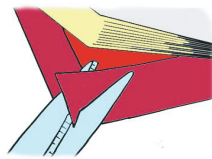
8. 表紙の大きさは、中身の天地寸法より3cm位大きいものを2枚用意します。



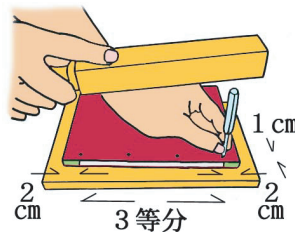
9. 中身の中央部分2ヶ所に糊を塗り、表紙の裏面の背の先端から8mmのところ、中身の背の先端を合わせて貼ります。天地の表紙の余分は均等になるように貼ります。



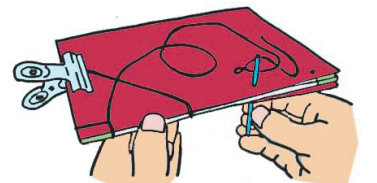
10. 定規を中身の背に合わせて置き、ヘラや目打ち等で表紙に折り目を付け中身と同じ大きさに折り返します。折り返す順番は、背→天→地→前小口の順に丁寧に折り返します。



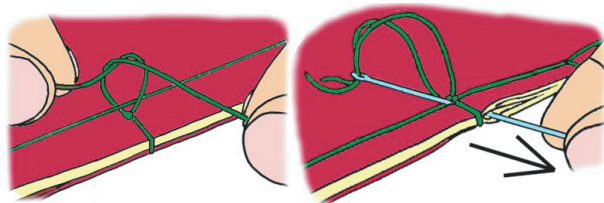
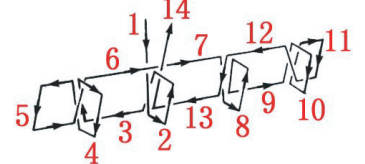
11. 折り返した表紙の角4ヶ所をはさみを入れて切り落とします。もう片側の表紙も9. から同様の手順になります。



12. 背の先端から1cm上に、天から2cm、地から2cmに各1ヶ所、残りを3等分したところ2ヶ所。合計4ヶ所に大きめの穴をあけてください。



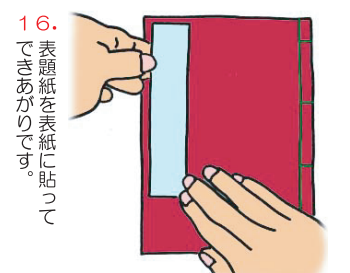
13. 糸の長さは天地寸法の4倍で十分です。針に糸を通して糸の最後尾は図のようにクリップで押さえます。下の1~14の順ですが、ポイントは、1から入った穴を6→7でとばして進みます。



14. 左図のように残った糸の先端と、戻ってきた糸の先端とで、13. の図の6→7の糸をはさみ込んで、2回片結びにします。結び玉を隠すには、右図のように結び玉の所の穴から、針を背中方向に通し、2本の糸を通して背中の方に強く引き出します。背中に出た余分な糸は切り落としてください。



15. 前小口5mm位に糊を引き、一枚目の無地の中身を貼り付けます。反対側も同様。



16. 表題紙を表紙に貼ってできあがりです。

